

千葉市「ブルーボンド」への投資について

印旛沼土地改良区(代表者名:長谷川邦彦、以下「当区」という)は、このたび、千葉市が発行するブルーボンド(千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド))、以下「本債券」という)に投資したことをお知らせします。

ブルーボンドとは、調達資金の全額が海洋保全等に資するブルー適格プロジェクトに使われる債券です。

千葉市は「千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、ICMA(国際資本市場協会)の「グリーンボンド原則2021」、IFC(国際金融公社)の「Guidelines for Blue Finance(2022年1月)」、「ソーシャルボンド原則2021」、「サステナビリティボンドガイドライン2021」等との適合性について、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所(JCR)から最上位の評価「SU1 および Blue1」を取得しています。

本債券による調達資金は、フレームワークで策定されたブルー適格プロジェクトに該当する事業(下水道施設・設備整備、処理場やポンプ場の整備、浄化センター設備整備)等に充当される予定です。

引き続き、当区は、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、本債券をはじめとした ESG 領域における投融資を一層推進してまいります。

<本債券の概要>

銘柄	千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)
年限	10年
発行総額	30億円
発行日	2023年(令和5年)12月26日(火)

本件に関するお問い合わせ先
印旛沼土地改良区
TEL:043-484-1155

